

関節鏡下肩関節授動術

疾患名 肩関節拘縮

主治医
看護師
療法士

薬剤師
栄養士

ID:
氏名:

入院診療計画書

病棟（病室） 診断群分類 070290 上肢関節拘縮・強直

		1月1日		1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月11日	1月12日		
		入院日	手術前日	手術日（術前）	手術日（術後）	術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日	術後7日	術後8日	術後10日	術後11日（退院日）
目 標		□不安なく手術を受けられる			□術後合併症の兆候がない □痛みのコントロールができる □装具を正しく装着できる										□退院の準備ができる
治 療 処 注	現在内服中の薬については指示に従って下さい		指示のある時は、手術前に飲む薬があります 	痛みの強い時は指示された痛み止めを使います 	痛み止めの内服が開始となります 点滴終了 										
			必要な場合、手術部位の除毛をします 弾性ストッキングを装着します 	創の中に管が入ります 手術部位を冷やします	出血量を見て手術部の管を抜きます	手術創の確認、処置を行います							抜糸をします 		
検 査	採血があります 				採血があります 						採血があります 				
食 事	必要に応じて栄養士の訪問があります		指定時間まで飲水できます 	状態により飲食を開始します 											
清 潔	前開きのシャツを準備して下さい 手足の爪を切りましょう				体を拭きます 		許可がでたらシャワーができます （シャワー用装具装着します） 								
排 泄				尿の管が入ります	尿の管を抜きます トイレ使用可能となります 										
安 静 リハビリ	リハビリスタッフが訪問します（術後に訪問する場合があります）			痛みがあれば三角巾を使います	歩行を始めます リハビリ予定について説明があります 肩の可動域訓練を始めます									退院後の生活についての指導があります	
説 明	入院・手術・装具についての説明があります 	麻酔科医の診察があります 	手術室看護師の訪問があります	医師から家族に説明があります 	麻酔科医の診察があります 総合評価 ☐ あり ☐ 少し #REF! 		シャワーでの危険な姿勢について説明があります 							退院指導・服薬指導があります 	
症状								特別な 栄養管理の 必要性	☐ あり	日常生活能力		☐ 問題なし ☐ 介助が必要な状態です			
本人・家族の要望									☐ 少し	認知機能		☐ 問題なし ☐ 不安定な部分があります			
看護計画等										気分・心理状態		☐ 問題なし ☐ 不安定な部分があります			

本人氏名
親族または代理人氏名

続柄：

説明日時 西暦 年 月 日 主治医氏名